

長寿はんさい

健康三カ条

- 一、筋肉の衰えを防ぎ、鍛え続ける
- 二、純日本食を食べ、粗食を貰く
- 三、いつまでも夢を持ち続ける

通算9回の「日本一」に輝くボディービルダー。朝からステーキを平らげるスーパーマンを想像していたが、50歳からは、肉は一切も「食べるの『純日本食』」。口にしていません」。

毎日2時間を超えるトレーニングに加え、食事は玄米や十六穀米に納豆など大豆製品、卵入りみそ汁を取り、肉や魚、乳製品は一切食べない。「肉を食べないと筋肉は鍛えられない」と

とし すけ
広島市中区 金沢 利翼さん (77)



いう常識を覆し、日本人には日本食が最も適していることを証明したい」と話す。

競泳選手だった学生時

代、体力強化のため始めた筋力トレーニングの魅力に取りつかれ、20歳で本格的にボディービルの道へ。4年後に日本選手権で優勝、世界選手権でも4位入賞を果たし、34歳で引退した。

病気がちの妻を元気づけようと、50歳で競技復帰を決意。「戦時中、食べ物は芋の煮物や団子汁ばかり。でも、周囲のお年寄りは皆元気だった」と思い出して以来、昔ながらの日本食材を使った粗食を貰き、いまだ病気知らずだ。

57歳で再び「日本一」に輝き、昨年も優勝。「99歳まで現役」が夢だ。【和田泰】

純日本食で病気知らず